

教科	公民	科目	公共			単位数	2
学科	工業科	履修学年	1	コース		必修・選択	必修
教科書	実教出版『公共』						
副教材等							

学習目標	<p>考察のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。また調べた情報等をもとに、現代の諸課題を多面的・多角的に考察・判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想した内容を議論する力を身につけさせる。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めさせる。</p>
------	--

指導の重点	<p>生徒の興味・関心に配慮しながら、現実社会における様々な問題を身近な問題として考えさせる。また現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p>
-------	--

学 習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1 学期 (20)	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 他者とともに生きる 第4章 民主社会の倫理 第5章 民主国家における基本原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。</li> <li>・人間は、個人として尊重されるべき存在であることや、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成することについて理解させる。</li> <li>・各人の利害を公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を図ることが必要であることを理解させる。</li> </ul>	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。
2 学期 (24)	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 2 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。</li> <li>・現実社会の事柄や課題を基に、憲法、法律、規範等に基づいて各人の意見や利害を調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</li> <li>・現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</li> </ul>	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。	

	3 学期 (20)	3 国際社会と人類の課題  第1章 国際政治の動向と課題  第2章 国際経済の動向と課題	・国際社会における我が国の役割など現実社会の問題や課題について理解させる。またグローバル化がすすみ、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で行われていることを理解させる。	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。
計 6 4 時間 ( 5 5 分 授 業 )				
評価規準と 評価方法	<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	
	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	現実社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとし、また国民や国家の利害調整することについて学習した内容を、社会生活に生かそうとしている。	
	<p>[評価方法]</p> <p>以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。</p>			